

国立大学法人東京農工大学病原性微生物等安全管理規程の一部改正

現行	改正	改正理由
<p>目次</p> <p>第1章 総則(第1条-第4条)</p> <p>第2章 安全管理体制(第5条-第10条)</p> <p>第3章 安全管理基準(第11条-第21条)</p> <p>第4章 健康管理(第22条-第27条)</p> <p>第5章 雑則(第28条-第29条)</p> <p>附則</p> <p>本則</p> <p> 第3章 安全管理基準</p> <p> (病原性微生物等のレベルの分類)</p> <p>第11条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 小委員会は、病原性微生物等のレベルの分類が第1項の基準によることが適切でないと認めた場合、前項の規定にかかわらず実験の方法及び用いる病原性微生物等の量により当該微生物等のレベルを別に定めることができる。</p> <p>別表2</p> <p><u>特定病原体等のバイオセーフティレベル(BSL)分類</u></p> <p>(表は省略)</p> <p>[別紙参照]</p>	<p>目次</p> <p>第1章 総則(第1条-第4条)</p> <p>第2章 安全管理体制(第5条-第10条)</p> <p>第3章 安全管理基準(第11条-第21条)</p> <p>第4章 健康管理(第22条-第27条)</p> <p>第5章 雑則(第28条-第29条)</p> <p>附則</p> <p>本則</p> <p> 第3章 安全管理基準</p> <p> (病原性微生物等のレベルの分類)</p> <p>第11条 病原性微生物等のレベルの分類は、別表1に定める基準に基づき、付表1及び付表2に定める。また、特定病原体等の種別の分類は、別表2の記載によるものとする。</p> <p>2 (略)</p> <p>3 小委員会は、病原性微生物等のレベルの分類が第1項の基準によることが適切でないと認めた場合、<u>同項</u>の規定にかかわらず実験の方法及び用いる病原性微生物等の量により当該微生物等のレベルを別に定めることができる。</p> <p>別表2</p> <p><u>特定病原体等のバイオセーフティレベル(BSL)分類</u></p> <p>(表は省略)</p> <p>[別紙参照]</p>	

附 則 (教規程第75号)
この規程は平成28年1月25日から施行する。

別表2（現行）

特定病原体等のバイオセーフティレベル（BSL）分類

別表1付表1により分類された病原体のうち、下記のもの感染症法改正（平成19年6月1日）により特定病原体として指定され、取扱いは法に基づく規制が課せられるので再掲した。特定病原体等のそれぞれを一種病原体等（一種）から四種病原体等（四種）と示す。

特定病原体等のBSL分類

1. ウイルス

●BSL1

なし

●BSL2

Flaviviridae

Flavivirus

Dengue virus（四種）

Japanese encephalitis virus（四種）（at, m, ML-17, S株を除く）

Orthomyxoviridae

Influenzavirus A

Influenza A virus（四種）（H2N2及びH5N1またはH7N7の弱毒株¹⁾に限る）

Picornaviridae

Enterovirus

Poliovirus（四種）

Poxviridae

Orthopoxvirus

*Monkeypox virus*²⁾（三種）

Rhabdoviridae

Lyssavirus

Rabies virus（三種）（CVS, ERA, Flury Fuenzalida S-51, Fuenzalida S-91, Kelev, LEP, Nishigahara, Paris Pasteur, PM, PV, SAD, Vnukovo-32株）

1) A/duck/Hokkaido/Vac-1/2004(H5N1), A/turkey/Turkey/1/2005(H5N1)(NIBRG-23), A/turkey/Turkey/1/2005(H5N1)(NIBRG-23), A/Viet Nam/1194/2004(H5N1)(NIBRG-14), A/Indonesia/05/2005(H5N1)(Indo05/PR8-RG2), A/duck/Hokkaido/Vac-2/2004/(H7N7), A/equine/Newmarket/1/77(H7N7)は、除く。

2) 動物実験を行う場合はABSL3とする。

● B S L 3

Bunyaviridae

Hantavirus

- Hantaan virus* (三種)
- Seoul virus* (三種)
- Dobrava-Belgrade virus* (三種)
- Puumala virus* (三種)
- Andes virus* (三種)
- Sin Nombre virus* (三種)
- New York virus* (三種)
- Bayou virus* (三種)
- Black Creek Canal virus* (三種)
- Laguna Negra virus* (三種)

Phlebovirus

- Rift Valley fever virus* (三種)

Coronaviridae

Coronavirus

- Severe acute respiratory syndrome coronavirus (SARS coronavirus)* (二種)

Flaviviridae

Flavivirus

- Kyasanur Forest disease virus* (三種)
- Omsk hemorrhagic fever virus* (三種)
- Tick-borne encephalitis virus* (三種)
- West Nile virus* (四種)
- Yellow fever virus* (17D vaccine strain を除く) ^{3)・4)} (四種)

Herpesviridae

Simplexvirus

- Cercopithecine herpesvirus*^{3)・4)} (三種) (Bウイルス)

Orthomyxoviridae

Influenzavirus A

- Influenza A virus* (四種) (H5N1 又はH7N7の強毒株に限る)

Paramyxoviridae

Henipavirus

- Nipahvirus* ^{3)・4)} (三種)
- Hendra virus* ^{3)・4)} (三種)

Rhabdoviridae

Lyssavirus

- Rabies virus* (三種) (CVS, ERA, Flury Fuenzalida S-51, Fuenzalida S-91, Kelev, LEP, Nishigahara, Paris Pasteur, PM, PV, SAD, Vnukovo-32株及びHEP, RC・HL株を除く)

Togaviridae

Alphavirus

- Eastern equine encephalitis virus* (三種)
- Venezuelan equine encephalitis virus* (三種)
- Western equine encephalitis virus* (三種)

3) 診断検査のための少量培養に限る。それ以外はBSL4とする。

4) 取り扱いについては、別途規定のマニュアルに従うこと。

● B S L 4

Arenaviridae

Arenavirus

Guanarito virus (一種)

Sabia virus (一種)

Junin virus (一種)

Lassa virus (一種)

Machupo virus (一種)

Bunyaviridae

Nairovirus

Crimean-Congo hemorrhagic fever virus (一種)

Filoviridae

Ebola virus

Ivory Coast ebolavirus (一種)

Reston ebolavirus (一種)

Sudan ebolavirus (一種)

Zaire ebolavirus (一種)

Marburg virus

Lake Victoria marburgvirus (一種)

Poxviridae

Orthopoxvirus

Variola virus (major, minor) (一種)

2. 細菌

● B S L 1

なし

● B S L 2

(ヒトから分離されるものすべてがあげられているわけではない。必要に応じ別途協議する。)

Clostridium

C. botulinum (二種)

Escherichia

E. coli (四種) (腸管出血性大腸菌に限る)

Shigella

S. sonnei (四種)

S. dysenteriae (四種)

S. flexneri (四種)

S. boydii (四種)

Vibrio

V. cholerae (四種)

(血清型O1, O139に限る)

ボツリヌス毒素 (二種)

志賀毒素 (四種)

<クラミジア、リケッチア>

Clamydophila

*C. psittaci*¹⁾ (四種)

1) 大量 (20 リットルを目途) に増殖させる場合はBSL3とする。

● B S L 3

Bacillus
B. anthracis (二種) (34F2及びDavis株を除く)

Brucella
B. abortus (三種)
B. canis (三種)
B. suis (三種)
B. melitensis (三種)

Burkholderia
B. mallei (三種)
B. pseudomallei (三種)

Francisella
F. tularensis (二種)
(亜種ツラレンシス及びホルアークティカ、但し、B38及びLVS株は除く)

Mycobacterium
M. tuberculosis (四種)
(多剤耐性菌を除く)
M. tuberculosis (三種)
(多剤耐性菌に限る)

Salmonella
S. enterica
serovar Paratyphi A (四種)
serovar Typhi (四種)

Yersinia
Y. pestis (二種)

<クラミジア、リケッチア>

Coxiella
C. burnetii (三種)

Rickettsia
(*Spotted fever group*)
R. japonica (三種)
R. rickettsii (三種)
(*Epidemic typhus group*)
R. prowazekii (三種)

3. 真菌

● B S L 1
なし

● B S L 2
なし

● B S L 3
Coccidioides immitis (三種)

5. 寄生虫

● B S L 1
なし

● B S L 2
C. parvum (四種)
(遺伝型I型、II型に限る)

● B S L 3
なし

別表2(改正)

特定病原体等のバイオセーフティレベル(BSL)分類

対象病原体等	病原体等の名称		参 考			
			疾患の名称	疾病分類	BSL	
一種病原体等	A	アレナウイルス属	ガナリトウイルス	南米出血熱	1	4
			サビアウイルス			
			チャパレウイルス			
			フニンウイルス			
			マチュボウイルス			
	アレナウイルス属	ラッサウイルス	ラッサ熱	1	4	
	エボラウイルス属	アイボリーコーストエボラウイルス	エボラ出血熱	1	4	
ザイールウイルス						
ブンディブギョエボラウイルス						
スーダンエボラウイルス						
レストンエボラウイルス						
オルソボックスウイルス属	バリオラウイルス(別名痘そうウイルス)	痘そう	1	4		
ナイロウイルス属	クリミア・コンゴヘモラジックフィーバーウイルス(別名クリミア・コンゴ出血熱ウイルス)	クリミア・コンゴ出血熱	1	4		
マールブルグウイルス属	レイクビクトリアマールブルグウイルス	マールブルグ病	1	4		
二種病原体等	B	エルシニア属	ペスティス(別名ペスト菌)	ペスト	1	3
	C	クロストリジウム属	ボツリヌム(別名ボツリヌス菌)	ボツリヌス症	4	2
	B	ベータコロナウイルス属	SARSコロナウイルス	重症急性呼吸器症候群(病原体がSARSコロナウイルス)	2	3
	B	バシラス属	アントラシス(別名炭疽菌)	炭疽	4	3
	B	フランシセラ属	ツラレンシス(別名野兎病菌)(亜種ツラレンシス及びホルアークティカ)	野兎病	4	3
	C	ボツリヌス毒素		ボツリヌス症	4	2
三種病原体等	D	アルファウイルス属	イースタンエクインエンセファリティスウイルス(別名東部ウマ脳炎ウイルス)	東部ウマ脳炎	4	3
	D	アルファウイルス属	ウエスタンエクインエンセファリティスウイルス(別名西部ウマ脳炎ウイルス)	西部ウマ脳炎	4	3
	D	アルファウイルス属	ベネズエラエクインエンセファリティスウイルス(別名ベネズエラウマ脳炎ウイルス)	ベネズエラウマ脳炎	4	3
	E	オルソボックスウイルス属	モンキーボックスウイルス(別名サル痘ウイルス)	サル痘	4	2
	D	コクシエラ属	バーネッティイ	Q熱	4	3
	D	コクシジディオイデス属	イミチス	コクシジディオイデス症	4	3
	D	シンプレックスウイルス属	Bウイルス	Bウイルス病	4	3
	D	パークホルデリア属	シュードマレイ(別名類鼻疽菌)	類鼻疽	4	3
	D	パークホルデリア属	マレイ(別名鼻疽菌)	鼻疽	4	3
	D	ハンタウイルス属	アンデスウイルス	ハンタウイルス肺症候群	4	3
			シンノンブレウイルス			
			ニューヨークウイルス			
			パヨウウイルス			
			ブラッククリークカナルウイルス			
			ラグナネグラウイルス			
	D	ハンタウイルス属	ソウルウイルス	腎症候性出血熱	4	3
			ドブラバーベルグレドウイルス			
			ハンタンウイルス			
	D	フレイボウイルス属	SFTSウイルス	重症熱性血小板減少症候群	4	3
	D	フレイボウイルス属	リフトバレーフィーバーウイルス(別名リフトバレー熱ウイルス)	リフトバレー熱	4	3
	D	フラビウイルス属	オムスクヘモラジックフィーバーウイルス(別名オムスク出血熱ウイルス)	オムスク出血熱	4	3
	D	フラビウイルス属	キャサヌルフォレストディージーズウイルス(別名キャサヌル森林病ウイルス)	キャサヌル森林病	4	3
	D	フラビウイルス属	ティックボーンエンセファリティスウイルス(別名ダニ媒介脳炎ウイルス)	ダニ媒介脳炎	4	3
	D	ブルセラ属	アボルタス(別名ウシ流産菌)	ブルセラ症	4	3
			カニス(別名イヌ流産菌)			
			スイス(別名ブタ流産菌)			
			メリテンシス(別名マルタ熱菌)			
	D	ヘニパウイルス属	ニパウイルス	ニパウイルス感染症	4	3
	D	ヘニパウイルス属	ヘンドラウイルス	ヘンドラウイルス感染症	4	3
	D	ベータコロナウイルス属	MERSコロナウイルス	中東呼吸器症候群	2	3
D	マイコバクテリウム属	ツベルクローシス(別名結核菌)(イソニコチン酸ヒドラジド、リファンピシンその他結核の治療に使用される薬剤として政令で定めるものに対し耐性を有するものに限る)	結核	2	3	
D	リケッチア属	ジャポニカ(別名日本紅斑熱リケッチア)	日本紅斑熱	4	3	
D	リケッチア属	ロワゼキイ(別名発しんチフスリケッチア)	発しんチフス	4	3	
D	リケッチア属	リケッチイ(別名ロッキー山紅斑熱リケッチア)	ロッキー山紅斑熱	4	3	
D	リッソウイルス属	レイビーズウイルス(別名狂犬病ウイルス)	狂犬病	4	3	
E	レイビーズウイルス(別名狂犬病ウイルス)のうち固定毒株(弱毒株)	4		2		
四種病原体等	G	インフルエンザウイルスA属	インフルエンザAウイルス(血清亜型H2N2のもの)*1	インフルエンザ	5	2
	F	インフルエンザウイルスA属	インフルエンザAウイルス(血清亜型H5N1のもの)*1	特定鳥インフルエンザ	2	3
	G		インフルエンザAウイルス(血清亜型H7N7のもの)*1	鳥インフルエンザ	4	
	F		インフルエンザAウイルス(血清亜型H5N1のもの)のうち弱毒*1	特定鳥インフルエンザ	2	
	G		インフルエンザAウイルス(血清亜型H7N7のもの)のうち弱毒*1	鳥インフルエンザ	4	
	F	インフルエンザウイルスA属	インフルエンザAウイルス(血清亜型H7N9のもの)*1	特定鳥インフルエンザ	2	3
	F	インフルエンザウイルスA属	インフルエンザAウイルス(新型インフルエンザ等感染症の病原体)	新型インフルエンザ等感染症	新*2	3
	G	エシエリヒア属	コリー(別名大腸菌)(腸管出血性大腸菌に限る)	腸管出血性大腸菌感染症	3	2
	G	エンテロウイルス属	ポリオウイルス	急性灰白髄炎	2	2
	G	クラミドフィラ属	シッタシ(別名オウム病クラミジア)	オウム病	4	2
	G	クリプトスポリジウム属	パルバム(遺伝子型I型、II型のもの)	クリプトスポリジウム症	5	2
	F	サルモネラ属	エンテリカ(血清亜型がタイフィのもの)	腸チフス	3	3
	F	サルモネラ属	エンテリカ(血清亜型がパラタイフィAのもの)	パラチフス	3	3
	G	シゲラ属(別名赤痢菌)	ソクネイ	細菌性赤痢	3	2
			ディゼンテリエ			
			フレキシネリー			
			ポイデイ			
	G	ビブリオ属	コレラ(別名コレラ菌)(血清型がO1、O139のもの)	コレラ	3	2
	F	フラビウイルス属	イエローフィーバーウイルス(別名黄熱ウイルス)	黄熱	4	3
	F	フラビウイルス属	ウエストナイルウイルス	ウエストナイル熱	4	3
	G	フラビウイルス属	デングウイルス	デング熱	4	2
G	フラビウイルス属	ジャパニーズエンセファリティスウイルス(別名日本脳炎ウイルス)	日本脳炎	4	2	
F	マイコバクテリウム属	ツベルクローシス(別名結核菌)(三種病原体等に分類されるものを除く)	結核	2	3	
G	志賀毒素		細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症等	3	2	

※1別名等については「微生物学用語集 英和・和英」(南山堂)(日本細菌学会選定、日本細菌学会用語委員会編)を参考とした。
 ※2 A~Gについては「施設の位置、構造及び設備の技術上の基準一覧」及び「病原体等の保管等の技術上の基準一覧」を参照。

*1 新型インフルエンザ等感染症の病原体を除く *2 新型インフルエンザ等感染症

2015.5.21現在